

令和6年度事業 評価委員会による二次評価

1 評価基準

二次評価は以下の4段階で行う。

「 S 」 ……管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「 A 」 ……管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「 B 」 ……管理運営が良好であった施設

「 C 」 ……管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

2 評価

項 目	評価内容
施 設 名	東京都立埋蔵文化財調査センター
二次評価	A
管理状況	・館内や遺跡庭園は清掃が行き届いており、利用者が安全で快適に施設を利用できるような環境を常に整えている。 ・日常的な維持管理は計画書に基づき適切に実施している。さらに、設備不良時も柔軟かつ迅速に対応し、利用者の利便性の向上に努めていることは高く評価できる。
事業効果	・企画展では、多摩ニュータウン遺跡の出土品の中でも、使用方法のわからない土器など専門家でも頭を悩ませる出土品にあえて焦点を当て、利用者自身が考える機会を創出し、利用者の声をフィードバックするなど双方向型の展示を実施した。また、「東京文化財ウィーク」など都事業と連携した特別展示も実施した。 ・「お子さま考古学教室」の内容を「火おこし」や「弓矢」等の低年齢層でも楽しく体験ができる種目にリニューアルするなど利用者のニーズに合わせた見直しを行いつつ、多彩な事業を実施した。また、従前のインターンシップに加え、新規事業として「トライアル！発掘調査」を実施し、大学1、2年生や転職を考える社会人が自主事業である発掘調査の一日体験をする機会を設けるなど、将来の人材育成にも繋がる企画を行ったことは高く評価できる。 ・掲示物の英文付きパネルへのリニューアルなどユニバーサルデザイン化を推進し、利用者の声を反映した「駅からの案内板」を追加するなど、利用者へのサービス向上に努めた。 ・一般利用者の接遇等に対する満足度は非常に高く、利用者の視点に立った事業企画や運営を行っている。
その他	・考古学の専門知識と高い接遇能力を有する調査研究員により、発掘調査の成果を活かした普及事業を実施している。今後も埋蔵文化財保護の重要性を広く伝えられるよう、人材育成に取り組み、知識やスキルの継承を図っていくことが望まれる。 ・指定管理事業と発掘調査事業が相互に連携して、引き続き質の高いサービス提供を維持していくことが望まれる。 ・子供達や日頃文化財に接する機会が少ない方が文化財に親しむ機会を増やせるよう、出前授業の効果的な実施など学校や区市町村との連携を一層進めるとともに、外国人にもアクセスしやすい環境の充実を図るなど、文化財の保存と活用に向けたすそ野の拡大を図っていくことが望まれる。